

西部労福協まつり

9月18日（月）三連休最後にあたる敬老の日に米子産業体育館を会場に、**第3回労福協まつりを開催**しました。前日から、台風の影響で雨が降り出し、開催が危ぶまれましたが、実行委員会役員の一念が天に通じたのか明け方には台風も過ぎ、少し風が残りましたが無事に開催することが出来ました。



今回のまつりは、産業体育館の駐車場にテントを張って屋台コーナーを作り、焼きそばやかき氷、大山おこわ、野菜の即売、つきたて餅や豚汁、ポン菓子の無料配布を行いました。角実行委員長の開始の挨拶と同時に多くの来場者で賑わい、**600人分用意した焼きそばや大山おこわは、あっという間に売り切れてしまいました。**



屋台に併設してふわふわドームやミニSLも用意しました。**開始早々から、最終時間まで多くの子供たちの歓声が響き渡りました。**

屋内では、敬老の日ということもあり、特別に70歳以上のご来場者の方に先着50名に記念品を差し上げました。子供たちにもお菓子の無料配布や、くじ引き、折り紙、紙飛行機、こま回し等が楽しめるゲームコーナーを用意して多くのご家族連れに喜んでもらいました。

また、体育館のサブアリーナでは、恒例の抽選会をおこないました。健康器具や家電品等、多数の景品の他に2次抽選としてディズニーランドの旅行券や液晶テレビ、DVDレコーダー、ゲーム機等を用意し、まつりの閉会式の時に角実行委員長が役員や動員者全員の前で抽選をおこないました。同じくサブアリーナでは、**事業団体がそれぞれ工夫を凝らし展示コーナーや商品説明等を行いました。**参加者の皆さんが、**展示物を興味深く見入る姿**が見受けられ、今日まで地道な活動の積み重ねが実り、ようやく**労福協**という名前の浸透と、**ろうきんや全労済、ピアベル・ベルライト**が加盟して運営されているという認識がなされてきたと思われます。



第3回を迎えた労福協まつりですが、**第1回から変わらぬ趣旨は、労福協と労福協に加盟する事業団**





体の知名度を「まつり」という媒体を通して向上させることと、組合員とご家族の皆さんが楽しく過ごせる時間を共有して頂くことで、広く労福協という組織を知って頂くことを目標に計画しました。そして、回数を重ねる毎に確実に会員と連帯の輪を広げ、最終的には地域の福祉活動を行う組織と連携を図り、地域に根ざした活動を行うことを目標としています。

今後も、労福協活動を継続することで、会員及び地域の連帯と強化を図りたいと考えておりますので、引き続きご指導ご鞭撻を頂きますようお願いいたします。

報告 西部支部事務局長 赤井 堯